

常任委員会 活動レポート

5つの常任委員会では、
議案の審査だけでなく、
市民生活に深くかわかる
課題について調査研究を
行っています。
令和6年度の取組状況
をご紹介します。



総合政策委員会

市民の皆様に必要な「情報」を 確実に届けるために

「伝える伝わる広報戦略」をテーマに研究を行いました。本市では、子育てや教育、福祉や防災など多くの情報を、市報をはじめ、市ホームページやSNSなどを使いお届けしています。これらツールの拡充と利便性向上のため堺市および尼崎市への視察を行い、先進事例を学びました。今後も、時代に即した行政広報の在り方を考えていきます。



堺市のウェブサイト・広報紙に関する取組などを調査(11月)

文教委員会

こどもまんなかの視点で 課題を抱える子どもを支える

本委員会では、専門スタッフが行う児童や家庭への教育・福祉・心理面での重層的な支援や先生方の負担軽減および学校教育の充実を図るための環境整備について、天理市の先進事例を視察しました。本市でも、教育現場では様々な子どもや家庭への対応が求められており、個々の特性や背景にある家庭の事情に寄り添った支援が望まれます。



天理市の専門スタッフによる窓口「ほっとステーション」の取組などを調査(11月)

市民生活委員会

男女共同参画推進センターの強化と 自治組織の在り方を調査

男女共同参画社会の実現に向けて、佐賀県の先進事例を視察しました。本市のセンターにおいても調査研究機能を強化し、市内特有の状況の把握など、データなどに裏打ちされた施策の展開に努めていくことが必要だと学びました。また、自治会加入や活動のメリットを受けるための地域ポイント事業について、福岡市の取組を視察しました。



佐賀県の男女共同参画センター「アバンセ」の運営について調査(11月)

保健福祉委員会

すべての市民が暮らしやすい インクルーシブ社会へ全力

高齢者・障がい者が暮らしやすい社会を目指し、本市の実情を研さんのうえ広島市や明石市の先進事例を調査しました。これらの活動を踏まえ、高齢者や障がい者へのきめ細やかな支援、子育て支援などの議論を展開中です。対応が急がれる課題では委員会として意見書も提出しました。今後もインクルーシブな社会構築へ全力を傾注していきます。



広島市では地域共生社会に向けた取組を調査(10月)

まちづくり委員会

道路空間が生み出す さらなる価値の取組に向けて

道路は、安全・円滑・快適に通行できる交通機能の充実とともに、これからは経済の活性化、にぎわいの創出、人とのつながりなどの価値を深めていく役割が求められます。AIを活用した安全対策、歩行者利便推進道路(ほこみち)制度などの先進事例を参考に、まちづくりに貢献する将来像を見据えた道路行政の在り方を研究しました。



姫路市ではほこみちに指定されている大手前通りを視察(11月)